



# あいさつ

一般社団法人日本ユニバーサルボッチャ連盟

理事長 古賀 稔啓

いよいよ東京パラリンピックの年になりました。

その影響でボッチャの詰め土が上がりました。そして多くの方々がボッチャの体験を通して「ボッチャって面白いね。気軽にできていいね。」など身近なスポーツになってきました。きっとパラでテレビを見ながら多くの国民がボッチャ競技を応援してくれることと思います。

またボッチャ競技の対象外の重度障害者に対する講習会や一般企業での講習会、高齢者施設での講習会と多くの場所で開催してきました。そしてその講習会で体験された方々が今大会に参加しています。

今大会も第6回を迎えることができました。年々参加者が増えてきて今大会は、個人戦、団体戦を合わせると300名を超えての参加者です。きっと誰もが優勝を狙っての白熱戦が繰り広げられることと思います。

今大会は、今までの種目に一般の個人戦とエキシビジョン戦を追加しました。一般の方たちは、団体戦しかなかったところ個人でも戦ってみたいという声に応えました。またエキシビジョン戦は、重度障害者が競技アシスタントと一緒に一人でコートに入って戦います。きっと今までにない経験をして大きく詩人をつけてくれることと思います。

今大会にエントリーされました選手の皆様は、アスリートとして自覚と誇りを持ち、これまでの練習の成果を十分に発揮され栄光をめざして、競技にチャレンジしてください。

そして今大会のスタッフの皆さんは、当連盟の活動に日頃から協力をしてくださっている方たちが協力をしていただいています。今大会を経験して地域の活動に役立てていただきたいと思います。

終わりに、本大会の開催にあたり深くご理解とご協力をいただきました川崎市をはじめ関係団体、ボランティアの皆様に対して、心から感謝申し上げてご挨拶といたします。